

障害者スポーツ

第1回大阪府障害者スポーツ大会

6月3日(日)・9日(土)・10日(日)



太田大阪府知事挨拶

「第1回大阪府障害者スポーツ大会」は、6月3日万博記念競技場で陸上競技、6月9日ファインプラザ大阪で水泳競技と新しく加わったフライングディスク競技、6月10日同じくファインプラザ大阪で卓球競技とアーチェリー競技が開催されました。参加人数は、陸上450人、水泳120人、フライングディスク47人、卓球123人、アーチェリー10人、合計選手750人、延べ競技数1137種目にのぼる多くの障害者の参加を得、無事終了しました。

特に開会式では、多数の来賓の方々に参列いただき、太田大阪府知事が励ましの挨拶をしました。続く陸上競技では夏を思わせる暑さの中、選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、通常の陸上競技の種目に加え、障害者の種目であるビーンバッグ投げや車いすのスラローム競技などで熱戦が繰り広げられました。



第1回大阪府障害者スポーツ大会

熱戦! 繰り広げられる

今大会から参加条件が変更されました!

去る6月3日(日)万博記念競技場、9日(土)・10日(日)大阪府立障害者交流促進センター(ファインプラザ大阪)において「第1回大阪府障害者スポーツ大会」が開催されました。

今大会から参加者に従来の身体障害者だけでなく、知的障害者も加わり、リニューアルされた大会となりました。

今年度より従来の全国身体障害者スポーツ大会と全国知的障害者スポーツ大会が統一され、「第1回全国障害者スポーツ大会」として宮城県で10月27日から29日までの3日間にわたり開催されます。今までの大会の趣旨は、「リハビリテーションの一環」としての色合いが強いものでした。今回から参加条件などの変更により「競技性を加味した」統合大会となります。府の大会も全国大会の趣旨にのっとり開催されました。

障害者スポーツ大会の歴史

身体障害者の全国大会については1965年の東京パラリンピックを契機に36回を数えています。第33回大会(ふれ愛びっく大阪)が大阪府で開催されたことは、多くの方の印象に残っていることと思います。一方知的障害者の全国大会(ゆうあいピック)は、9回開催されています。

大阪での大会は全国よりも歴史が古く、大阪府身体障害者スポーツ大会として38回開催されています。また知的障害者の大会は、毎年秋に開催されているスポーツフェスタがあり19回を数えています。



「ささえよう ひろげよう 障害者の 就労の輪」